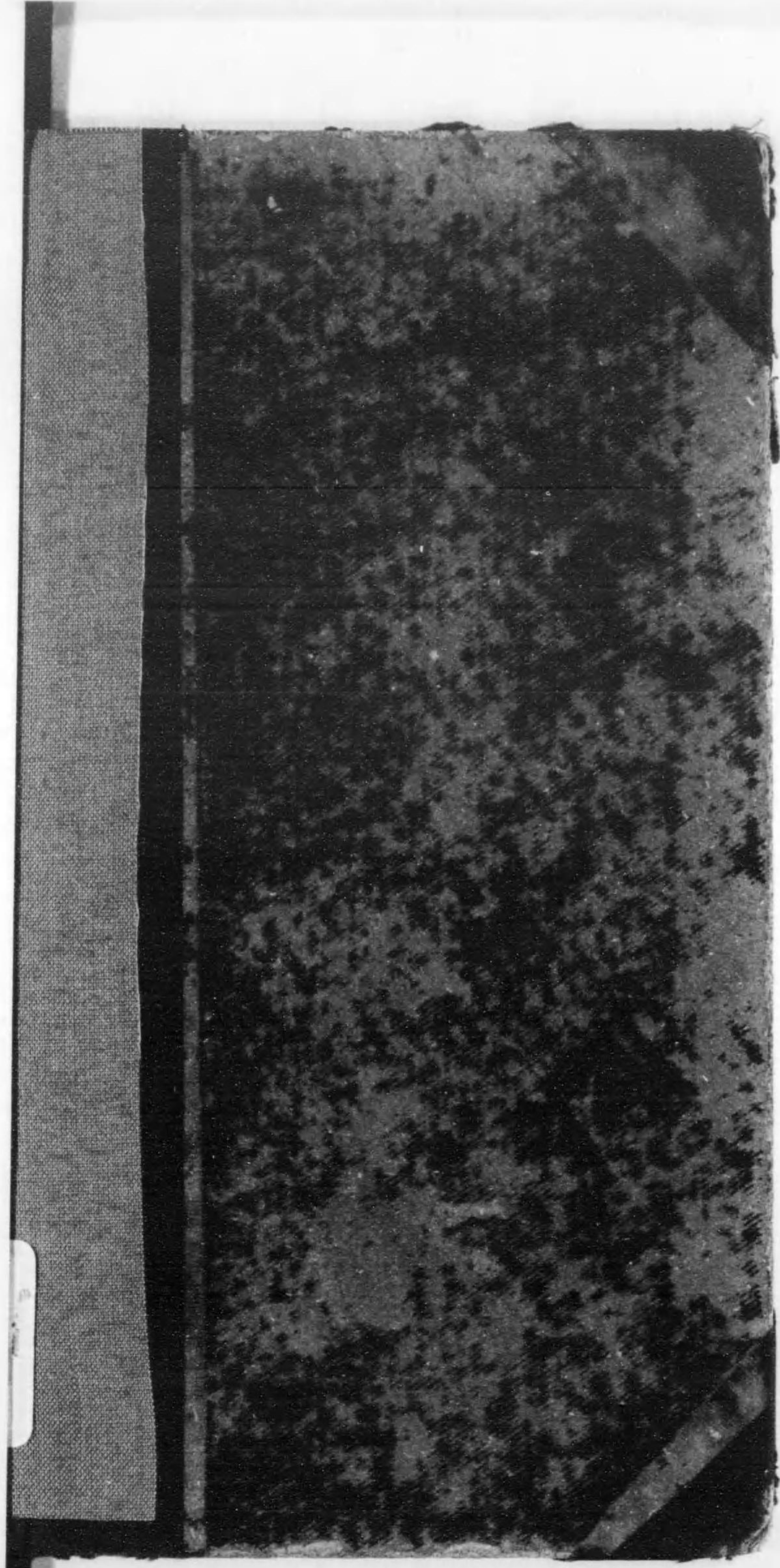


始

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5



323  
547

*A Guide to Punctuation*  
パンクチュエーション早わかり

長谷川 康 著



1924

東京 敬 文 館 發 行

123-54



長谷川 康 著

パンクチュエイシヤン 早わかり

東京 敬文館

大正  
13. 4. 5  
内交

## CONTENTS.

---

	Page.
I. 英語句讀法一夕話 .....	i
II. Punctuation の必要.....	1
III. Punctuation Marks .....	5
IV. 各 Mark の用法—概説 .....	6
V. 用法各論—Comma .....	16
VI. 練習課題 .....	32
VII. Semicolon 用法 .....	35
VIII. 練習課題 .....	41
IX. Colon 用法 .....	43
X. 練習課題 .....	46
XI. Period 用法 .....	48
XII. 練習課題 .....	51
XIII. Dash 用法.....	52
XIV. 練習課題 .....	53
XV. Apostrophe 用法 .....	55
XVI. 練習課題 .....	57
XVII. 練習問題解答 .....	59

---

緒言に代へて

英語句讀法一夕話

北米合衆國が歐洲大戰に参加して間もない頃の一夜、私はある受験生の訪問を受けた。話題は自づから米國參戰の事に及び私は所謂“hyphenated Americans”の暗中飛躍が President Wilson を惱ましつゝある有様を物語ると、件の學生が：—

「今、先生が仰しやいました“hyphenated Americans”といふのはどういふ意味ですか。」

「それはね、“German-American”といったやうに hyphen 附きの米國人——まだ米國魂が本統に滲み込まない歸化人のことです。」

「ははア、成程、hyphen がある間は渾然融和が出来ませんからね。」

「そこだ！君は“排日運動”を英語で何と云ひますか。」

さあ——“anti-Japanese agitation”でせうか。」

「宜しい。その anti-Japanese には hyphen

が挿まつてゐますね。今度は“反基督教運動”と英語で云つて見給へ。」

「それは——“antichristian movement”でせう。」

「その通り。だが、その場合 hyphen はありますか。」

「ありません。そして Christian が小文字になります。」

「そこに気がついてゐるのは中々偉い。hyphen があれば大文字が保存され、hyphen が取られると小文字に變る。hyphen が取られて渾一の語になるから、語の中途に大文字が使はれるのは變なので小文字になる。そこでお分りでせう Atlantic が transatlantic になり、Siberian が trans-Siberian であることが。」

「ははア、transatlantic の方は頻繁に使はれるため hyphen が脱け、従つて小文字になつた。之に反して trans-Siberian の方はさまで頻繁に用ゐられないから hyphen が保留され従つて大文字になつてゐるわけですね。」

「その通り。Arctic が北極地方の意味で、

antarctic が南極地方の意味であることを知つてゐても、前者が大文字で書き初めてゐるのに、後者は全部小字になる理由が分らぬ人が多いでせう。君にはもうその惑は起らなくなりましたね。」

「hyphen で思ひ出したが、“to-day” や “to-morrow” に hyphen を挿めると私共は教養されて來ましたが、近頃の新聞などには“today, tomorrow” となつてゐますね。」

「さうです。あの類も遠からず hyphen を抜いて教へるやうになりませう。然し差當り受験準備としては矢張 pyphen を挿んで使ふ方が安全でせう。“nowadays” も少し前までは “now-a-days” とされてゐたのですが今ちや hyphen が取れました。さうかと思へば “bird's-eye view” のやうに Apostrophe と hyphen と併用されてゐる詞もありますね。」

「句讀點のお話の序に伺ひますが、先日或學校で、かういふ二ツの文を併記して意味の差を述べよといふ問題が出ました：—

(a) I love him because he is honest.

(b) I love him, because he is honest.

私にはトント區別が立ちませんが……」  
「ははア、これは受験程度以上ですね。(a)の場合では because 以下の Clause が重きをなしてゐるので。」

“彼れが正直であればこそ私は彼れを愛するのだ”の意で、(b)のやうに Comma を切れば、I love him とふ Clause に重きが置かれて“私は彼れを愛してゐる、彼れが正直だから”と because 以下の Clause は添加されたに過ぎないのです。」

「な一程、それで解りました。“あの人  
が金持だからとて私はあの人を愛するの  
ではない”といふ時には：—

I do not love him because he is rich.

と because の前に Comma を切らず、之  
に反して、“あの方は私は嫌だ、怠惰漢だ  
から”といふ場合：—

I do not like him, because he is indolent.

といふ具合に Comma を切る理由が。」

「いや、君は中々頭が好いね。しかし、先  
日君が京都からよこした葉書には、january  
31th とか sunday とか K. Tanaka とか随分  
不注意な間違がありましたよ。」

31st Sunday. K. Tanaka.  
January

「そ一ら始まりましたね。先生の許へ來  
ると歸り際に必ず頂門の一針を頂くんです  
からね。」

「それから君は Sentence の末尾に略字記  
號の Period を置く時に、その後へ更に文の  
終末を示す Period を今一ツ置くやうです  
が、あれは誤鄭寧な間違ですよ。Period一ツ  
で澤山です。」

「あゝ、さうですか。でも文の中途に略  
字が使はれた時に、そこへ Comma を置け  
ば略字記號の Period と Comma とが重ね  
用ゐられるでせうね。」

「それやさうですよ。名を Initial で略し  
た後へ Comma を置いてはいけませんよ。  
Period ですよ。そして姓名を書いてしまつ  
たら Period を打つんですよ。」

「略さずに Personal name を書けばそこに  
記號は要りませんね。」

「さうです、要りません。“K. Tanaka.”  
か “Katsumi Tanaka.” か、どちらかです  
ね。」

「いや、色々有益なお話を伺ひまして有難  
うございました。」



「やあ、もうお歸りですか……一寸待ち給へ。僕の特製の Punctuation 警句を五ッお土産に差上げるから：—

(一) 七曜や十二ヶ月は大じなり

註曰：中學卒業生にして Sunday や January を小文字で書くものあり。警むべし矣。

(二) 行の頭出してよいのは Dash ばかり

註曰：行の先頭に Comma や Semicolon を平氣で出す大膽者あり。警むべし矣。

(三) Comma の後頭字書いて耻かくな

註曰：Comma や Semicolon の後に頭字を濫用する輩あり。警むべし矣。

(四) 丁年を越して hyphen 用に立ち

註曰：twenty-one, ninety-nine の如く十位と一位との間 hyphen あり。警むべし矣。

(五) 人はいざ己れは Comma ほごがよし

註曰：人の書いた文で句讀點の用法を色々學ぶは可。自分の書く文は Comma で濟ませる位に平易簡短に書く心がけがよし。

「これは先生特製の“ケイク”——飴のやうで、あと口がピリリとする珍味、ゆつくり賞味致ませう。」

## Punctuation の必要

昔、英國王 Edward 第二世が民心を失つた折に過激の徒が王を弑さうと思つて Bishop Orlton の允許を求めた。之に對する Orlton の答は：—

“Refrain not to kill King Edward is right.”

とあつた。此答を口づから聞けば詞の調子で如何なる意味か解るけれども、之を文字で書き傳へられた場合は讀む者迷はざるを得ぬのである。何となれば、此文字は Punctuation 次第で全然反對の意味を示すからである。例へば：—

Refrain; not to kill King Edward is right.

とすれば、

「差控へよ；エドワード王を弑さぬことが正しい」

となり、

Refrain not; to kill King Edward is right.

とすれば、

「遠慮するな; エドワード王を殺すことが正しい」

となる。茲に到ると Punctuation が人命を左右する。

故和田垣博士の西遊スケッチの中に次の一項がある:—

或視學官が村學を視察した。教場で作文をやらしてゐるのを參觀してゐると生徒の書く文に Punctuation がない。同伴の校長に注意を與へると昂然として「本校では句讀などといふ些細なことには頓著させませぬ」といふ。茲に於いて視學官は一人の生徒を呼び出して黑板に:—

The schoolmaster says the inspector is an ass. と書かせた。

「校長曰く: 視學官は馬鹿である」

とあるので 校長「その通り」と云はんばかりの顔をすると、視學官はその生徒に「schoolmaster の次と、inspector の次とに Comma を切れ」と命じた。さア今度は?

「校長は馬鹿である。」と視學官が言つてゐる」

となつたので「なる程、Punctuation は重要であるわい」と流石頑迷な校長も頓悟した。

近年のこと、北米合衆國で果樹の栽培を奨励せんがために輸入税免除の品目中に之を加へた。原稿を書く人は“fruit-trees”と記したのだが印刷した品目にはそれが“fruit, trees”となつてゐた。ナニシロ種々の品目の中に挙げられてあつたので當事者も此の誤に心附かず其儘各税關へ之を配布した。サア大變、米國全土の各家庭に於いて消費される莫大の舶來果實が残らず免税になつて輸入された。當局者が此過誤に心附く迄に何十萬弗の損害を國庫は蒙つたのであつた。

大正七年の東京高等商業學校——商科大學の前身——の入學試験問題に:—

He had given all up for lost, when the appearance of a distant sail raised his hope of rescue.

とあつたのを:—

「遠方に帆が顯れたので救はれる見込がある」と彼れが思つた時に彼れは萬事休せりと諦めた!

*It is really with him*

と答解して落第した受験者が多かつた。Whenの前にCommaがある事を無視したからである、即ち、此whenがContinuative Useであつて、上から譯し續くべき場合であることを遺れた爲の失策である。(尙、此問題は後に詳説する。)

以上幾多の實例に徴して讀者諸君はPunctuationが如何に重要な意義を有するかを十分知覺されたことゝ信ずる。以下項を逐うてPunctuationの法則を講述するに方り、「こんな容易いこと？」と思はれる事柄でも頭から馬鹿にしないで、慎重に自己の智識の整理に努められるやう切望する次第である。

## 句讀點の種類

Punctuation marks (句讀點) の主要なる者は下の如くである:—

1. Comma ,
2. Semicolon ;
3. Colon :
4. Period .  
(又、之を Full stop ともいふ)
5. Interrogation point ?
6. Exclamation point !
7. Dash —
8. Hyphen -
9. Apostrophe ' ,
10. Marks of quotation “ ” ‘ ’
11. Marks of parenthesis ( ) [ ]
12. (a) Paragraph ¶  
(b) Section §  
(c) caret ^

## 句讀點の用別—概論

1. **Comma** は最も軽い區切目を示し、此記號のある所には、一(ヒ一)と數へる位、聲を區切つて次へ讀繼ぐ、そして聲の調子をやゝ揚げ調子にして、之を下ろしてはならぬ(グツと調子を下ろせば、其所で Sentence が終止したことになる)。

注意:—Comma の後に來る語を(固有名詞その他常に大字にて書始むべき語を除き)大字に書く勿れ。Comma の次を大字にする誤——殊に if を置く時に——は書取、作文の答案に於いて屢々實見してゐる。

注意:—Comma (その他の句讀點も)を行(line)の劈頭に置く勿れ。

2. **Semicolon** は Comma より重い區切目を示し、此記號のある所には、一二(ヒーフと)數へる位、聲を區切る。

注意:—後に續く語を大字に書かぬこと Comma と同じ。

3. **Colon** は Semicolon より重い區切目を示し、此記號のある所には、一二三(ヒーフミー)と數へる程、聲を區切る。

注意:—前項に同じ。

4. **Period** は Colon より更に重い區切目を示し、此記號のある所には、一二三四(ヒーフミーヨー)と數へる程、聲を區切りて然る後次の Sentence を讀み起す。

注意:—此記號のある所では聲の調子を下げて Sentence の停止を示す。

注意:—此記號のあつた後には、the といふ語一ツ挿み得る程の間隔を置いて、次の Sentence を書き始む。

注意:—此記號の後に來る語は新たなる Sentence の冒頭であるから必ず大字。——但し、此記號が略字記號として用ゐられた場合は別である。

5. **Interrogation point** は疑問文の末尾に用ゐる。然し、人の發した疑問をその儘に文中に挿み用ゐる場合は中途に用ゐられ

る:—He asked, “Who are you?” in a most polite manner.

注意:—此記號の後には(上記の如く文中に用ゐられた場合を除き) Period の後と同一間隔を置く。

注意:—此記號のある所にて(イ)聲の調子を揚げる場合と、(ロ)下げる場合とがある。

(イ) Are you a teacher of English?  
No, I am not.

(ロ) What are you? I am a diplomat.

*標榜記號  
の最佳句文*  
(ハ) Are you a Japanese, or a Chinese?  
I am a Japanese.

上例に於いて見る通り(イ)の問はその答に Yes, か No, かを附する必要のある種類であり、(ロハ)の類は然らず。尙、問の尻を揚げるとはその末尾の語の Accent を變ずるのではなく、Accent は本然のまゝにして置いて聲の調子を尻上に發音するのである。例へば(イ)の末尾の語 English? の Accent は En にあるから、その E の母音を強く發音する(その E を強く發音したく思つたならば、そこで頭をグツと揚げるが

よい)、そして glish の所は聲を強くしないで(即ち、頭を揚げないで)、調子だけ撥ね上げるのである。

6. Exclamation point は感嘆文の末尾に用ゐる。然し時には:—Oh! how terrible it is! などの如く文の中途に用ゐることもある。

注意:—此記號は談話者の感興の高潮を示すものであるから(甲)命令文にも、(乙)叙述文にも用ゐることがある:—

(甲) Run, poor folks, run!

(乙) Thousands of houses are on fire!

注意:—此記號は、文の中途に用ゐられた場合を除き、Period と同様の間隔を置いて次の Sentence を書き起す。

7. Dash は、(イ) Sentence の中途まで言ひかけたことを急に止める時、(ろ) Apposition の語句を導き、(は)説明となる Clause を中間に挿み、(に)文字、又は、數字を略し、(ほ)讀む時に間隔を置く等の場合を標示する。

(い) I will never—but I need not finish my sentence; for you know already what I was going to say.

(ろ) The governor set all the prisoners free—an act which showed his good sense.

(は) At the age of six—such was his genius—Pope composed the “Ode on Solitude.”

(に) Nearly a year later, in the month of October, 18—, London was startled by a crime of singular ferocity.

(ほ) The two boys stood face to face with each other—one advances—the other retreats a few steps—stops—looks at his opponent—then takes to his heels.

尚、例文などを引用せんとするに際して:—を用ゆると、邦語の「左の如し」とか「例」とかに當る。

8. **Hyphen** は、(a) 合成語を分ち示すため、(b) 行の末尾に来る語の一部分を次行に繰送るために用ゐる。

(a) Out of anti-Japanese sentiment, the people of that part of China prefer home-made articles.

「排日感情のためにその地方の支那人は自國の製品を用ゐたがる」

注意:—Hyphenが挿入してある合成語は未だ渾然たる一語を成さざることを示してゐる。若し、之を用ゐること頻繁にして既に一語と認められるやうになればHyphenを除く。例へば: now-a-daysが近頃 nowadaysとなり、battle-shipがbattleshipとなり、anti-Christianがantichristian, trans-Atlanticがtransatlanticとなれるが如し。(而して最後の二語に於て見る如く合成語の後半が大字にて書き起すべき語なる時、Hyphenあればその大字を保有し、Hyphen除かるれば本来大文字の語も小文字となる。)

注意:—twenty-oneからninety-nineまでの數詞を書くに際して、十位と一位との間にHyphenを入れることを忘れるな。

(b) We now learning the rules of punctuation.

注意：—此場合 Hyphen は前行の尻へ附けるので、決して次行の頭へ附けてはならぬ。

注意：—Syllable は切り所が發音上、又、慣用上、一定してゐるから、出鱈目に切り分けてはならない。Syllabication の規則は小生の著 “Spelling 早わかり” に詳説してあるから就いて看られたい。(punctuation は punc-tu-a-tion と切れる。)

9. **Apostrophe** は (a) 文字、數字の省略、(b) 文字、數字の複數を作るに、(c) Possive Case を作るに用ゐられる：—

(a) What o'clock is it? (of clock の略)

(b) The great earthquake occurred in '23. (1923 の略)。

(c) Benjamin's father was a tallow-chandler.

注意：—Possessive Case を示す Apostrophe の用法は後に詳説する。

10. **Marks of Quotation** には二種の形式があつて、(甲)を Double quotation marks といひ、(乙)を Single quotation marks といふ。

(甲)は人の詞をその儘引用する時に用ゐる：—

“Please tell us a story, uncle,” cried the children all at once.

(乙)は引用せる詞の中に更に引用されたる他の詞ある時用ゐる：—

He said to me, “My father said, ‘If you want a dictionary, you shall have one’.”

尚、此記號は書籍の標題、船舶の名稱などに附し用ゐることがある。

11. **Marks of Parenthesis** は (い) 説明的語句を文の間に挿む時、(ろ) 代名詞が頻發して孰れの名詞を指すか不明瞭の虞ある時に用ゐる：—

(い) If you know how to solve the riddle (and I believe you do), have the goodness to teach it me.

「若し貴君が此謎の解き方を御存知なら(して屹度御承知と思ひますが)、願ひから教へて頂戴。」

(ろ) When Nobunaga ordered Mitsuhide to make preparations for the banquet to be given in honour of Iyeyasu, he (Mitsuhide) did all he could in the hope of pleasing his master (Nobunaga).

12. (a) **Paragraph** は節の新たに起ることを示し、原稿に此記號ある時は、そこで行を改める——通例、改行する時は、the 一語を容れ得る程、行の頭を引ッ込ませて書き、又、印刷する。

注意:—書取の答案に冒頭の一行を引ッ込ませて書き始むべきことを知らぬ(か、或は怠る)者多し。

(b) **Section** は此記號そのものを印刷に表して項目の見出しに用ゐる。

(c) **Caret** は脱字をした場合か、後から補足したい語句ある時に、之を用ゐてその行の上へ所望の文言を書き入れる:—

had

I lost the watch which I <sup>^</sup> bought at Hattori's.

注意:—Caret を附けた行の下へ書き込む勿れ。又は Caret を逆に附けて下行へ書き入れる勿れ。

概論は茲にて一段落とし、これより進んで各論に入り、必須の智識を與へんと欲す。



## Comma の用法

(一) 列記された語が連続して  
読まれると文意が誤解される虞  
ある場合に:—

1. Whatever you do, do thoroughly.

「何事を爲すにも、徹底的に之を爲せ。」  
此文で do do を続け讀にしたら意義を  
なさぬ。

2. The worst education which teaches self-  
denial, is better than the best which teaches  
everything else and not that.

「克己を訓へる教育ならどんな不完全な  
教育でも、他のあらゆる事を訓へて克己を  
訓へない教育の最高のものに優る。」

此文は The worst education が主語で  
is がその Predicate verb である。然るに  
若し、self-denial の次に Comma が切ら  
れなければ、self-denial is と続け讀まれ  
る虞がある。かく讀み続ける:—

The worst education which teaches  
[that] self-denial is better.....

と解される。勿論末尾まで讀了すれば  
肝腎な Predicate verb が無いことに氣が  
注いで自己の誤解を覺るに相違ないが、  
それまでの無駄骨折を Comma 一ツで豫  
防し得るのである。

(二) 文中に挿まれる Phrase や  
Clause の前後を區切つて、主格  
が、是等の挿句を隔て、後に來  
る verb に聯絡するここを示す:—

3. The fire, thanks to the efforts of the  
fire-brigade, was soon extinguished.

「その火事は、消防隊の努力のお蔭で、程  
なく消止められた。」

4. Prince Saionji, who had been staying in  
town for some days, left for Okitsu by the  
1 p.m. train yesterday.

「西園寺公は、茲數日來滞京中なりしが、  
昨日午後一時發の汽車にて興津に向へり。」

注意:—Saionji の次に Comma を切らな  
ければ「都に滞在中なりし西園寺公」とな

つて西園寺公が二人もあつて區別のために who 以下 days までの Clause が用ゐられたことになる。

(三) Continuation Use の Relative Pronoun や Relative Adverb の前に切る:—

5. In front of the 1st High School, I met a student, who kindly showed me the way to Uyeno.

「一高の前で、私は一人の學生に遇つた、その學生が親切にも私に上野へ行く道を教へて呉れた。」

注意:—若し上文の who の前に Comma がなければ、その who は Restrictive Use になつて:—

「一高の前で、私は親切にも上野へ行く道を教へて呉れた學生に遭つた。」

と解されるかも知れない。嚴密に考へれば、後に示した意味の英文としては:—

In front of the 1st High School, I met the student who had kindly shown me the way to Uyeno.

とあるべきで兩文の間に意味の差が顯著である。

注意:—He is the very Saionji who represented Japan at the Peace Conference. と書けば who が Restrictive Use で「あの人は(他の西園寺ぢやなくて)平和會議で日本を代表したその西園寺である」の意を表す。

6. He had given all up for lost, when the sight of a distant sail raised his hope of rescue.

に於いては、when の前に Comma があつて Continuative Use たることを示してゐるから:—

「彼れは萬事休せりと諦めた、その折柄遠方に帆影が見えたので助かるぞといふ希望を起した。」

と譯すべきである。今若し、前に擧げた誤譯をした人が抗辯して、「He とある人物が自殺を希望してゐたと考へれば私の譯でも理窟が立ちませう」と申したら、諸君は「ナル程」と引込みますか?—その人が、第一には、when の前の Comma を無視し

たこと、第二には、had given up てふ過去完了形と when の後の raised といふ過去形との時の先後を無視したこと、此二點に依て彼れの蒙を啓いてやらねばなりません。

(四) ニツ以上の語が共同の語句に聯絡することを示すために各語の後に Comma を切る:—

7. Mr. Sugita acted first with, and afterwards against, the Seiyū-Kwai.

「杉田氏は初めは政友會と行動を共にし、後には政友會に反對した」

此文で with も against も共に the Seiyū-Kwai を目的語としてゐる。

8. Without care and method, the largest fortune will not, and with them, almost the smallest will, supply all necessary expenses.

「用意と方針とがなければ、どんな大資産でも必要な経費を支辨するに足りないし、之あれば最小といふべき程の財産でも必要な経費を支辨するに足りる。」

此文では、will not からも、will からも、supply に繋る。そして此種の構文は省略體であつて supply 以下を繰返すを省いたものであるから、日本譯には「必要な経費を支辨する」てふ部分を繰返して、文章の組織を示したのである。

(五) 幾ツかの Noun Clause が同一の動詞の主格、又は、目的格にある時、その Clause の各々を分つに用ゐる:—

9. Who he is, or whence he came,  what he intends to do,  not known to any one.

「彼れが何人であるか、何處から來たか、何を爲さんと思つてゐるか、(その孰れでも) 知つてゐる者はない。」

此文の Who he is の如きは疑問詞を以て始まる三ツの Noun Clause が or で繋がれて is てふ動詞の主格になつてゐる。

10. Nobody knows when he will come, or whether he will come at all, or whether he is even alive.

「彼れが何時来るか、はたして彼れは来るであらうか、イヤ、はたして彼れは生きてゐるのかすらも、知つてゐる者がない。」

此文では when he will come 以下三ツの Clause が皆、knows の目的格になる。尙、此用法は對句が列擧される場合にも適用される：—

Interest and ambition, honour and shame, friendship and enmity, all influence men.

「利益慾望、名譽耻辱、友愛憎惡、は總て人間の性情に感化を及ぼす。」

〔六〕 Adverb の働を爲す Absolute Phrase と本文との間を Comma で切る：—

11. To do him justice, the late Nakashōji was a man of integrity.

「(彼れを)公平に批判すれば、故仲小路氏は廉潔の人であつた。」

注意：—此の劈頭にある To do him justice

てふ Phrase が文の中程に挿入されると、その前後を Comma で區切る：—The late Nakashōji, to do him justice, was a man of integrity.

12. We started off, he remaining behind.

「吾々は出發した、彼れは後に残つて。」

〔七〕 Adverb Clause や Phrase が Sentence の冒頭に置かれる時にその後を Comma で區切る：—

13. If I had followed your advice at that time, I should be richer than he.

「あの時に君の勸告に従つてゐたなら、今は私は彼れよりも富んでゐるであらうに。」

注意：—上文の順序を逆にして if I had followed..... の Clause を後へ廻せば Comma を切らぬ人が多い。そして、この if を略して助動詞を主語の前へ出す事が往々あるが、その場合誤譯をせぬやうに警戒を要する：—

I should be richer than he had I followed your advice at that time.

を「私は貴君が有つたよりも金持になるであらう……」など、譯してはいけない、had I followed……は if I had followed……の變體であるから。

14. In order to gain his point, he did not hesitate to use deception.

「自己の目的を達せんがためには、彼れは權謀を用ふるを憚らなかつた。」

注意：—此文の順序を顛置して：—He did not hesitate to use deception in order to gain his point. とすれば Comma を要しない。

〔八〕 Apposition に用ゐられた Phrase, Clause の前に Comma を切る：—

15. Sir Edward, son of the dethroned king, came to the throne.

「廢位された王の息たるサー、エドワードが王位に登つた。」

注意：—Apposition の詞でもその前の名詞と切つても切れぬ程密接な場合には Comma の介在を容さぬ：—

Alexander the Great's conquests.

「アレグサンダ大帝の征伐せし國土」

此場合 'Alexander the Great' は分つべからざる名稱である。

16. Who does not know the well-known saying, that honesty is the best policy?

「誰人か知らざらむ、かの著聞せる成句、即ち、正直は最上の商略〔てふ成句〕を。」  
尙、此 Comma の用法が適用されて、説明として附加せられたる文言の前にも Comma を用ゐる：—

The lot is oblong, seventy yards in length and fifty in breadth.

「その地面は長方形である、即ち、長サ七十碼幅五十碼。」

〔九〕 Participle で導かれた Phrase が Sentence の劈頭にある

か末尾にある時は、その Phrase と Clause との間を Comma で切る:—

17. Writing something on a bit of paper, the Premier gave it to his secretary.

「紙片に何やら認めて、首相はそれを秘書官に渡した。」

18. Our father died, leaving us on the verge of starvation.

「親父は死んだ、後に残つた吾々は餓死せんばかりの有様であつた。」

### 〔一〇〕語の省略を示す:—

#### (a) 接續詞

19. Messrs. Yamamoto, Tokonami, Nakahashi, and Motoda seceded from the Seiyu-Kwai.

「山本、床次、中橋、及元田の諸氏は政友會を脱黨した。」

上文の Comma は and の省略を示す。

(末の and の前に Comma を置くは別種の用法で〔一二〕参照。)

20. Nothing shall shake my resolution—  
threat, entreaty, bribery, or death.

何者にも我決心を動搖させぬ——威嚇でも、嘆願でも、賄賂でも、又は死でも。」

此場合の Comma は or の省略を示す。

#### (b) 前置詞

21. 15, Masago-cho, Tokyo,  
January 21st, 1924.

手紙の書き出しの番地町名年月日等の Punctuation はよく習熟して置くがよい。上例に示せる如く、番地と町名との間に Comma を入れるは英國流で米國では此 Comma を入れず番地の前へ No. を附ける人が多い。さて上例に省略された前置詞を補足して見ると下の如くなる:—

15 (on) Masago-cho (in) Hongo (in) Tokyo (on) January 21st (in) 1924.

然し、實用上では一々前置詞を用ゐないで、Comma を利用するものと心得給へ。

22. I was born in London, Dec. 25th, 1900.

此例の如く月名を簡略した場合には略字の記號として Period を打つ (Comma は月と日の間には用ゐない)。

(c) 動詞

23. Admission, 50 sen.

此 Comma は is の省略を示す。

24. Tickets, 1 yen.

此 Comma は cost の省略を示す。

〔一一〕Conjunction で結ばれてある二つの語の孰れか一つにのみ繋がる**駁答語**である時はその接續詞の前にCommaを切る:—

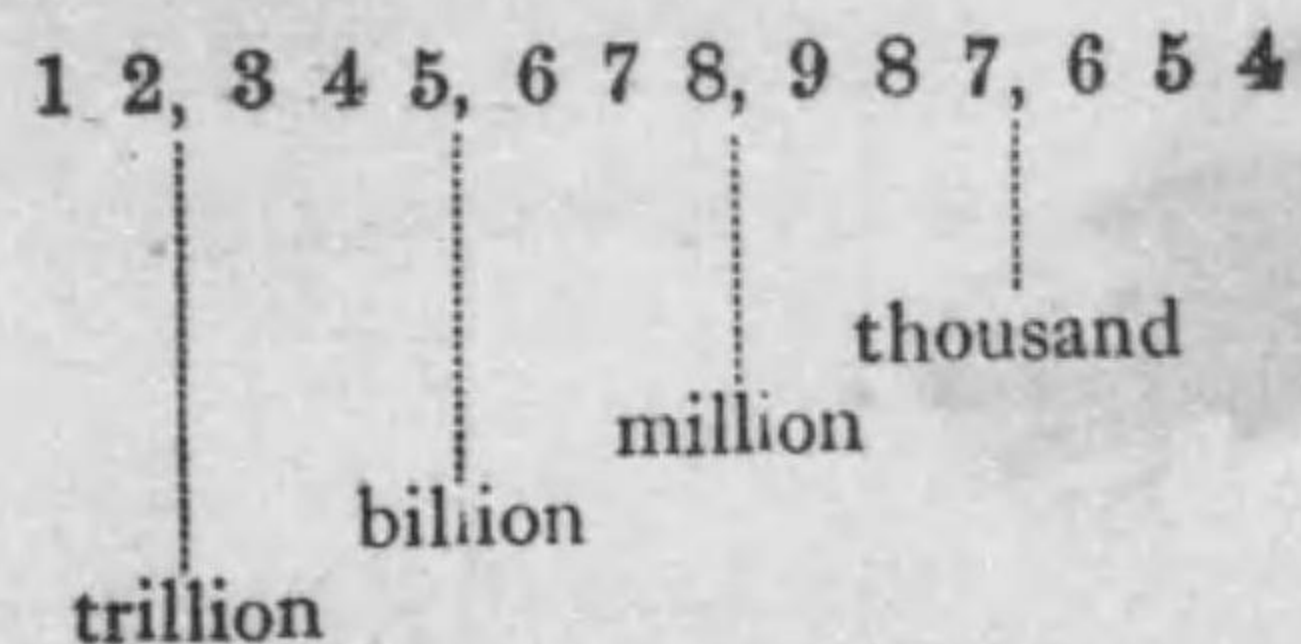
25. All day he kept walking, or thinking about his misfortunes.

「終日彼れは歩き続けるか、自分の不幸を思ひ詫びるかしてゐた。」

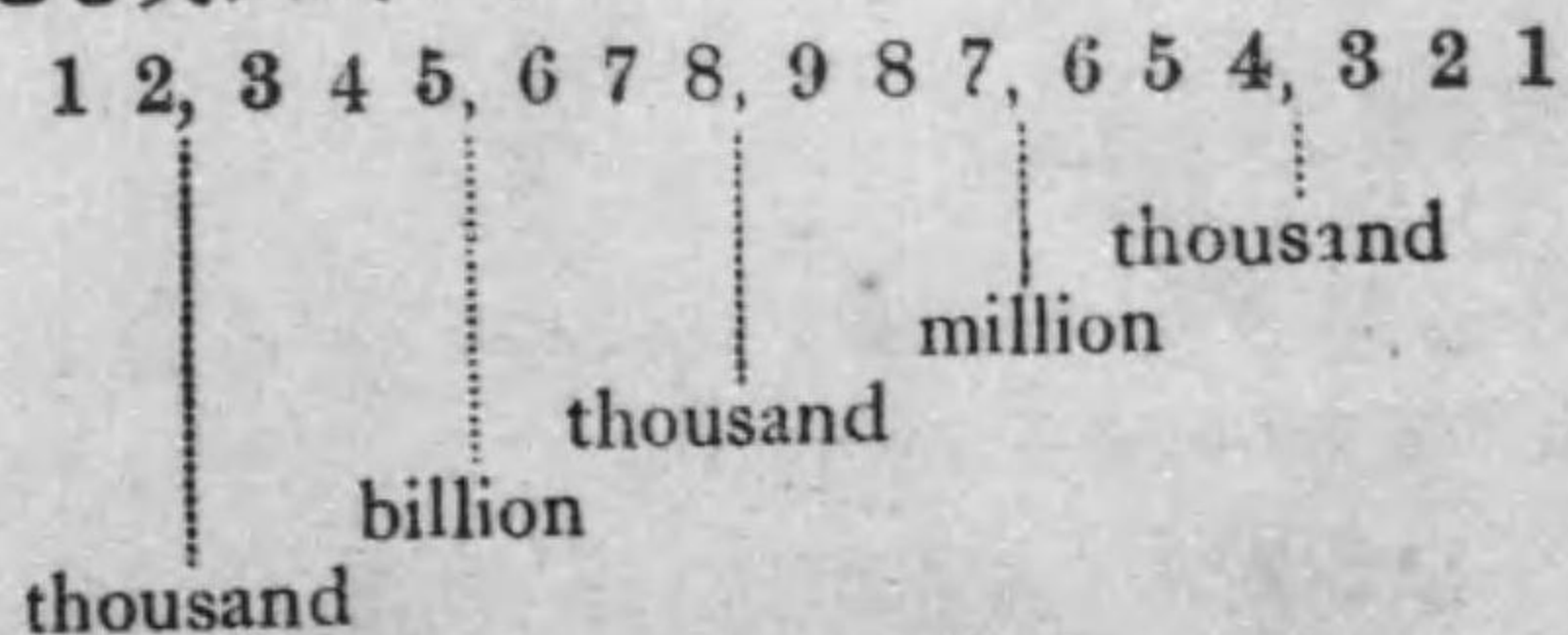
此文の about his misfortunes は thinking だけに繋がる。

注意:—名詞の前に形容詞を重ねて用ゐる時に最初の形容詞があその名詞だけを形容するのではなく、(次の形容詞十名詞)を形容する場合にはCommaを切らぬ:—It is of a dark yellow colour. 「それは黒ずんだ黄色であつた。」此 dark は yellow colour を形容してゐる、a dark colour とは直接形容してゐない。

〔一二〕数字の単位を示すComma:—



上掲の単位表記の用語は米國式であつて之を英國式にすれば:—



となつて、も一つ左の單位が trillion である。諸君自身は實用上米國式を採用してよからうと思ふが、知つてゐるのは双方知つてゐねばならぬ。さて、米國式に則つて初めに擧げた数字を words に書き表せば:—

Twelve trillion three hundred (and) forty-five billion six hundred (and) seventy-eight million nine hundred (and)

eighty-seven thousand six hundred and fifty-four.

となる。hundredの次に一々 and を挿めといふ人もあるが、中途には省いてよい。但し、最終の hundred の次には是非必要である——これは「もうこの次の一ト言でおしまひだぞ」といふ意味の and であつて、さればこそ、その後の語は hyphen で繋いだ fifty-four なのである。同じ 25 でも、twenty-five といへば一語だが、five and twenty といへば二語である。(前出の Nakahashi, and Motoda の場合参照。)

注意:—小數點(Decimal Point)は、その名の示す如く、Point 即ち Period であつて Comma ではない。

〔一三〕直接引用文を導くに Comma を用ゐる:—

26. I said to him, "Do you recognize me?"  
之を間接文に改めれば Comma は除かれる:—

- I asked him if he recognized me.  
27. He said to me, "Whom do you want to see?"

之を間接叙法に改めれば:—

- He asked me whom I wanted to see.  
28. "Know thyself," said an ancient sage.  
此場合、引用句が文の冒頭に置かれたので、その次に Comma を切る。  
29. "I am sorry," said he, "for what I have done."

此文では said he が挿入句になつてゐるので、その前後に Comma を要する。

〔一四〕Nominative of Address の後に:—

30. Manchester, England,  
February 11, 1924.

My dear Thomson,

I shall be very glad to.....

31. Friends, Romans, country men, lend me your ears.



「吾が友よ、羅馬市民よ、吾が國人よ、吾が言ふ所を聞き給へ。」

練習

(次の文中必要なる個所に句讀點を施せ)

- (1) Alexander, the son of Philip, king of Macedon, was born in 356 B. C.
- (2) Greece, Italy, and Spain are the peninsulas of Europe.
- (3) Early to bed, and early to rise makes a man healthy, wealthy, and wise.
- (4) We should live soberly, prudently and industriously at all times.
- (5) By night or by day at home or abroad asleep or awake he is a constant source of anxiety to his father.
- (6) Caesar having defeated the Gauls led his army into Britain.
- (7) Convinced of the righteousness of the cause, he stuck to it.
- (8) The dog lying on a public road was run over.

- (9) A dog lying on a public road is likely to be run over.
- (10) Screaming with pain the giant rushed round and round trying to catch Odysseus and his men.
- (11) Many of us through ignorance thoughtlessness or want of judgment wound those whom we love best and most wish to help.
- (12) Men of great learning, and talent whom all people admire and praise are often found to be more modest than persons of inferior qualities. Sir Isaac Newton the eminent philosopher was one of those great and at the same time modest men.

(次の文は幾つかの Sentence に分たるべきものである。適當の個所に Period を打ち、それに準じて必要なる變更をなし、且つ Comma を所要の場所に切れ。)

- (13) Four hundred years ago, America was very different from what it is now, there were no great cities in it, with roads connecting them in place of these, there were giant trees, thick woods and extensive praries abounding with deer bears and wolves.

(14) Glaciers are sometimes, very thick indeed in the Alps, there are glaciers more than 300 yards thick one of them, measures 15 miles long you must not imagine that the surface of a glacier is smooth, it is very rough indeed, and there are great cracks in it with green walls of ice and a stream of water at the bottom.

## Semicolon の用法

〔一〕Compound Sentenceに於いて、後なる Clause が前の Clause の意を補足註釋する場合に:—

1. Go where you like; only do not stay here.

「何處へでも好きな所へ行け; たゞ茲には居るな。」

2. I fancy I see them all on the seashore together; the King's chair sinking in the sand; the King in a mighty good humour with his own wisdom; and the courtiers pretending to be quite stunned by it.

「吾はその人々が打揃うて海濱にゐるのが見えるやうな氣がする; (カニユート)王の椅子は沙中にメリ込んで; 王は御自身の智慧にほくそ笑んで; 朝臣達は王の智慧に呆氣に取られたやうな様子をして [ゐるのが見えるやうな氣がする]。」

上文はDickensのA child's History of Englandから採つた材料で有名なKing Canute が臣僚のおべツカを戒

めるため浪打際に椅子を据けて海潮を叱咤した逸話の條下である。

〔二〕Compound Sentence に於ける前後の Clause が相対照される意味を成す場合に:—

3. It is one thing to own a library; it is quite another to use it wisely.

「圖書を藏することは一ト廉のことである; [しかし] それを善用することは全く別問題に屬する。」

〔註〕此 “.....one thing; —another” の構造は、前の Clause で表されたことと、後の Clause の表すこととが別々のことたるを示すのであるから、上文も之を意譯すれば:—

「藏書が有るといふことと、之を活用することとは、別々の事に屬する。」

4. Some persons make a long story short; but most persons make a story long.

「長いことを要領をつまんで話す人もある; が大抵の人達は話をダラダラ長くする。」

但し:—前後の對照が軽い場合は Comma で區切ればよい。

〔三〕Compound Sentence の各 Clause の中に已に Comma が用ゐられてある場合に:—

5. If you have great talents, industry will improve them; if moderate abilities, industry will supply their deficiencies.

「卿にして大なる才能を有せんか、勤勉は之を増進せん; 卿にして物足らぬ才能を有せんか、勤勉はその不足せる所を補はん。」

尚、條件文を列擧する場合にも Semicolon を用ゐる:—

If we do our best; if we do not magnify trifling troubles; if we avail ourselves of manifold blessings which surround us; we cannot but feel that life is indeed a glorious inheritance.

「吾々が全力を盡すならば; 些々たる煩勞を過大視せぬならば; 吾々を取圍む幾

多の天恵を利用するならば；吾々は生なるものが如何にも立派な繼承物であることを感ぜざるを得ない。」

6. We need not be ashamed if others know more than we do ; but we ought to be ashamed if we have not learned what we can.

「吾々は耻ぢるに及ばない、他人が吾々より智識が勝つてゐても；然し吾々は耻づべきである、若し吾々が學び得ることを學ばずゐた場合には。」

此文では Semicolon の前後に Comma はないけれども if の前に切つてもよいのである、即ち、Semicolon の前後が各々 Complex Sentence を成してゐるのであつて、If others know more than we do, we need not be ashamed ; but if we have not learned what we can, we ought to be ashamed. と順序を顛置すると Comma が出て來るので見ても Semicolon を用ゐてよい場合たることが分る。

〔四〕 Conjunction の省略されたる場合に：—

7. Do not be a copy of your father, your grandfather, or your neighbour ; which would be as foolish as it would be for the violet to try to be a rose.

「お前の父や祖父や又はお前の近所の人を生寫しとなるな；〔何故かといへば〕そうなることは堇が薔薇にならうと骨を折るのと同じ様に愚かなことであらう〔から〕。」

此場合では which に for it の意を含んでゐるから；for which とは重ねて言はないが for の意のあることを覺らねばならない。」

8. We have three great bulwarks of liberty ; schools, newspapers, and the ballot-box.

「吾々は自由の大なる保障を三ツ有つてゐる；〔それは即ち〕學校と、新聞紙と、投票函とである。」

上文では Semicolon の次に namely を補つてもよい。

〔五〕 列舉せる Clauses が一ツの動詞へ繋る場合に：—

9. When he got home after twenty years' absence, he found that everything had changed; that children had grown up; and that grown-up people had grown old.

「彼れが二十年振りて故郷へ歸つて見ると、彼れは何も彼も變つてゐたのを目撃した；子供が大人になつたのを；大人は老人になつたのを〔目撃した〕。」

・但し：一上文は後半の二ツのClausesが前の he found that everything had changed てふ Clause の説明であるから〔一〕の類に入れてもよい。

〔六〕 Clause が列擧された場合  
その一ツ一ツに強き感じを與へ  
ようと思ふ時に：—

8. As Caesar loved me, I weep for him; as he was fortunate, I rejoice at it; as he was valiant, I honour him; but as he was ambitious, I slew him. So there is tears for his love; joy for his fortune; honour for his valour; and death for h's ambition.

此文は Shakespeare の戯曲 Caesar の中で Brutus が Caesar を殺した理由を公衆に辯疏してゐるところで、

一種の Climax を成してゐる文體で一節毎に強く句切つて、最後を最も重く言ひ表すのである。

要するに Semicolon は Comma では句切り目が輕過ぎる感のある時に使ふもので：—

I met him as he was leaving his house; otherwise I should not have known where he lived.

の如き文で otherwise の前を Comma にしたのでは輕きに失する。

### 練 習

(次の文中所要の箇所に Semicolon 又は Comma を切るべし。)

(15) His manner was awkward, his delivery was hesitating, he was often at a stand for a word.

(16) A great store of knowledge may be piled up without any purpose, and though a source of pleasure to the possessor, it may be of little use to any one else.

(17) A great soul may inspire a sick body with strength but if the body were well it would obey you more promptly and effectually.

(18) I know how unwelcome advice generally is I know that those who want it most like it and follow it least.

(19) To France the German invasion was like a pestilence to defeat it was a necessity of her existence and in defeating it she showed the courage of doctors and nurses that courage which is farthest removed from animal instinct and most secure from panic reaction.

## Colon の用法

〔一〕 Sentence の前段がその意味完結してゐて Period を用ゐれば獨立の文を成し得る場合に、更に例證の意を加へる時に：—

1. There are four seasons in the year : spring, summer, autumn and winter.

〔一年には四季あり：〔即ち〕春、夏、秋、冬〔これなり〕。〕

2. Good temper is like a sunny day : it sheds brightness over everything.

〔氣の練れてゐるのは長閑な日和のやうなものだ：〔ナニシロ〕萬づに光明を與へる〔から〕。〕

〔二〕 第二の Clause の意が前の Clause の意味を受けて急に轉ずる場合に：—

3. "I can't do it" never accomplished anything: "I will try" has wrought wonders.

「僕にや出来ないや」では何も出来た例なし：[之に反して]「僕はやつて見る」が驚嘆すべき事績を擧げてゐる。」

4. My son has never done such a thing before: he shall therefore be pardoned.

「私の息子はそのやうなことを今迄にしたことはありません：だから赦してやりませう。」

〔三〕Compound Sentenceの各部分が已にSemicolonにて分たれてゐる場合：—

5. Homer was the greatest genius; Virgil, the better artist: in the one we admire the man; in the other the work.

「ホウマは不世出の天才であつた；ブーヂルはまた一段と技巧には勝れてゐた；吾人は前者にあつてはその人物を景仰し、後者に於いてはその作品を讚美する。」

上文の前段にあつては、Homer と Virgil とを對比してゐるのだから兩者の間を Semicolon——〔三〕の用法——で割り、更に下段に於いては兩者に對する吾々の態度を對比してゐるのだから、矢張り Semicolon で區切る。而して前段と後段とを纏めて一文にしようとするにはその間に Colon を用ゐるのである。

〔四〕Dashを次に置きて列擧し來つた幾つかの Clause の意を總括する時に：—

6. The storm had passed; the sun was shining on the green leaves of the trees; the streams were dancing around the rocks; birds hopped about him, as they chirped their cheerful notes:—such were the pleasant scenes and sounds that welcomed the wanderer back to his home.

7. The boast of Heraldry, the pomp of Pow'r,

And all that Beauty, all that wealth e'er  
gave,

Awaits alike th' inevitable hour :

The paths of glory lead but to the grave.

此一節は有名なる Gray の Elegy 中で最も有名なものである。hour の次を Comma にしてある本もあるけれども私は Colon dash を採る。

〔五〕 Dashes を次に置いて「下の如し」といふ場合。これは實例を示す要はなからう。

### 練 習

(次の文中 Colon その他の句讀點を所要の箇所に附けよ。)

(20) Strive above all things in whatever station of life you may be to preserve health there is no happiness in life without it.

(21) Then Peter stood forth and said "Of a truth I perceive that God is no respecter of persons."

(22) You can always tell glacier streams their water carries so much clay and sand that it looks milky.

(23) An economical use of time is the true mode of securing leisure it enables us to get through business and carry it forward instead of being driven by it.

(24) Most men seem neither to understand their riches nor their strength of the former: they believe greater things than they should of the latter much less.

(25) A lie is told for one of the two ends either to get some advantage to which one has no real claim or to defend one's self from the bad consequences of something that one has done.



## Period の用法

〔一〕 Sentence の終止せるを示す:—

此用法は例文を示す必要もあるまいから略す。

〔二〕 語の短縮を示す:—

(甲類) 語の冒頭の一文字を (letter) 以てその語を代表させるもの:—

(1) a.m. < ante meridiem (ante = before meridiem = noon)

(2) p.m. < post meridiem (post = after meridiem = noon)

此略字は舊時は A. M., P. M. の如く大字を用ゐたが近頃は小字を使ふやうになつた。尤も停車場の時間表の中など、午前午後を明瞭に示したい場合には大字で書いてよい。

Mr. Watson left for Osaka by the 2.30 p.m. express.

「ワトソン氏は午後二時三十分發の急行で大阪に出發した。」

(3) A.D. < Anno Domini (in the reign of our Lord = 吾等の主の御治世に於ける = 基督降生後 = 西曆紀元後)

(4) B.C. < before Christ (基督前 = 西曆紀元前)

He was born in 35 B.C. and died in 27 A. D.

「彼は紀元前 35 年に生れ紀元 27 年に死んだ。」

(5) M. P. < member of Parliament (國會議員)

Mr. Ozaki is an M.P.

「尾崎氏は代議士である。」

注意:—M の前に冠詞 an を用ゐる——何故? 略字ならぬ member を使へば:—a member of Parliament であるのに。

(6) d. < denarius (denarius は羅馬の最低の貨幣であつて、價格は英國の八片ほどであつたけれども、最小額を代表してゐたのでそれを英國の penny の代用略字に使用するやうになつたのである)



## Dash の用法

〔一〕前に述べ來つた事柄の締  
く>りに:—

My young friend is a bit of a scholar, a  
bit of a poet, a bit of an artist, a bit of a  
musician—in short, a bit of everything.

「私の若い友人は一寸學問もあり、一寸歌  
も作るし、一寸畫も描くし、一寸音樂もやる  
し——要するに何でも嚙つてゐる人だよ。」

〔二〕前出の語の Apposition を  
導くに:—

The Higher Technical School the examina-  
tion of which we are now sitting for, is  
situated in the eastern part of Nagoya,——a  
city noted for its castle.

「吾々が今受験しつゝある高等工業學校  
は城に名高き名古屋市の東部に位す。」

〔三〕讀む時に Pause を置くべ  
きことを表示す:—

Work—work—work!  
While the cock in crowing aloof;  
And work—work—work  
Till the stars shine through the roof.

これは Thomas Hood さいふ詩人の The Song of the  
Shirt (シャツの歌) であらう、貧しい女の勞苦を歌つた時の  
一節である。

尙、此他の用法は“Punctuation の必要”  
の條下に掲げ示してあるから就いて看られ  
たい。

## 練 習

(次の文中に Dash その他、句讀點を要する箇所あら  
ば之を附すべし。)

(31) Discussions are generally useless they  
never lead to conviction and may cause you  
to run a dangerous risk that of losing your  
control over your good temper.

(32) I have no intention of running  
through the catalogue of the virtues you  
must go to Aristotle for that.

(33) From his mother he had inherited a clear clever head a head calculated to look closely and warily after the interests of No 1.

(34) The Indefinite Article has sometimes the force of a Numeral Adjective signifying one as A stitch in time saves nine.

(35) The letter read as follows.

## Apostrophe の用法

### 〔一〕 所有格の名詞に:—

(甲類) 所有關係を示す:—

This is my father's watch.

(乙類) 他者と區別したる親密關係を:—

The gentleman standing by the gate, is Takeda's father.

(丙類) 所用關係を示す:—

We make ladies' shoes only.

This is the students' room.

(丁類) 名詞を形容詞化する働:—

After three years' absence, I went home.

Japan's attitude toward China is closely watched.

This is the King of England's portrait.

此場合のApostrophe は England 一語に繋がるのでなくて、"The king of England" といふ句全體に附けたものである。

(戊類) 動詞の主格たりし名詞が、その動詞が名詞(又はGerund)に變りて文の主語となる場合には、所有格の形を取る:—

{ Germany invaded Belgium in 1914.  
 { Germany's invasion of Belgium took  
 { place in 1914.

〔二〕文字や数字の省略を示  
 す:—

- (イ) can't < cannot (ロ) don't < do not  
 (ハ) aren't < are not (ain't は俗用)  
 (ニ) couldn't < could not (ホ) would'nt <  
 would not  
 (ヘ) shouldn't < should not (ト) It's < It is  
 (チ) '24 < 1924.

〔三〕文字や数字を複数にする  
 場合 s の前に:—

Mind your P's and Q's.  
 「言語動作に注意せよ。」  
 Your 3's are apt to be mistaken for 8's.  
 「お前の3は8と間違はれ易いよ。」

練 習

(次の文中、必要なる箇所に Apostrophe その他句讀  
 點を附けよ。)

(36) Tis distance lends enchantment to  
 the view.

(37) The house was just such as I had  
 pictured it from Sherlock Holmes description:

(38) Trust no Future however pleasant

Let the dead Past bury its dead

Act act in the living Present

Heart within and God overhead!

(39) Yours is much better than hers.

(40) You can get the book at Brown &  
 Co the publishers.

(41) 次に掲ぐるは New York の某大會  
 社が商品仕入れのため原産地へ派遣した社  
 員から、「値段はかくかくだが買入れようか  
 ぞうしょうか」といふ意味の電報が來たに  
 對して打つた返電の文言である。この文言  
 に Punctuation mark が脱けた爲めに該會  
 社は重大損害を被るに至つた、何故でせう?

No price is too high.

(42) 次に掲ぐるは米國某市のさる理髮店の看板の文言である。これを見てホクホク悦に入つて早速顔を剃らせたお客が何時まで待つても一盃出さないので催促すると、床屋さん、ケロリとして「誰が顔を剃つてやつた上に一杯飲せる奴があるもんですか」と逆襲をする。「だつて、看板にさう書いてあるぢやないか」といふと、「馬鹿なこと仰しやい！ 読み方が違つてゐますア」どの一喝、諸君これやどうしたわけですか？

WHAT DO YOU THINK I WILL  
SHAVE YOU FOR NOTHING AND  
GIVE YOU A DRINK

## 練習問題解答

- (1) Alexander, the son of Philip, king of Macedon, was born in 356 B. C.
- (2) Greece, Italy, and Spain are the peninsulas of Europe.
- (3) Early to bed and early to rise makes a man healthy, wealthy, and wise.  
注意:—Early to bed と early to rise とを別々のことと考へないで、“Keep ng early hou s” の意に取つたから次の動詞が makes となつてゐる。だから一行目には Comma はいらない。
- (4) We should live soberly, prudently, and industriously at all times.
- (5) By night or by day, at home or abroad, asleep or awake, he is a constant source of anxiety to his father.
- (6) Caesar, having defeated the Gauls, led his army into Britain.
- (7) Convinced of the righteousness of the cause, he stuck to it.
- (8) The dog, lying on a public road, was run over.

(9) A dog lying on a public road is likely to be run over.

注意:—此文では“lying—road”が前の dog を密接に形容してある、即ち、A dog which lies on a public road としてもよいので、その which は Restrictive Use だから lying の前に Comma を切つてはいけない。

(10) Screaming with pain, the giant rushed round and round, trying to catch Odysseus and his men.

(11) Many of us, through ignorance, thoughtlessness, or want of judgment, wound those whom we love best and most wish to help.

(12) Men of great learning and talent, whom all people admire and praise, are often found to be more modest than persons of inferior qualities. Sir Isaac Newton, the eminent philosopher, was one of those great, and at the same time, modest men.

(13) Four hundred years ago, America was very different from what it is now. There were no great cities in it with roads connecting them. In place of these, there

were giant trees, thick woods, and extensive prairies abounding with deer, bears, and wolves.

(14) Glaciers are sometimes very thick indeed. In the Alps there are glaciers more than 300 yards thick. One of them measures 15 miles long. You must not imagine that the surface of a glacier is smooth; it is very rough indeed, and there are great cracks in it with green walls of ice, and a stream of water at the bottom.

---

(15) His manner was awkward; his delivery was hesitating; he was often at a stand for a word.

(16) A great store of knowledge may be piled up without any purpose; and though a source of pleasure to the possessor, it may be of little use to any one else.

(17) A great soul may inspire a sick body with strength; but if the body were well, it would obey you more promptly and effectually.

(18) I know how unwelcome advice generally is ; I know that those who want it most, like it and follow it least.

(19) To France the German invasion was like a pestilence ; to defeat it was a necessity of her existence, and in defeating it she showed the courage of doctors and nurses, that courage which is farthest removed from animal instinct and most secure from panic reaction.

(20) Strive above all things, in whatever station of life you may be, to preserve health: there is no happiness in life without it.

(21) Then Peter stood forth and said :—  
“Of a truth I perceive that God is no respecter of persons.”

(22) You can always tell glacier streams : their water carries so much clay and sand that it looks milky.

(23) An economical use of time is the true mode of securing leisure : it enables us to

get through business and carry it forward, instead of being driven by it.

(24) Most men seem neither to understand their riches nor their strength : of the former they believe greater things than they should ; of the latter much less.

(25) A lie is told for one of the two ends : either to get some advantage to which one has no real claim or to defend one's self from the bad consequences of something that one has done.

(26) George V. succeeded Edward VII.

(27) Adm. Togo left for Kyoto by the 8.15 p.m. express.

(28) Yours very truly,  
Yasushi Hasegawa.

(29) Contents.

PART I. Parts of Speech. 1

注意：一書籍の表紙、扉等にはPunctuation mark を附けないのが近頃の傾向である。然し、必要を認むる時は之を附するも差支ない。



(30) Mr. and Mrs. Brown came to see us yesterday, but Miss Brown didn't.

(31) Discussions are generally useless; they never lead to conviction and may cause you to run a dangerous risk—that of losing your control over your good temper.

(32) I have no intention of running through the catalogue of the virtues,—you must go to Aristotle for that.

(33) From his mother he had inherited a clear, clever head—a head calculated to look closely and warily after the interests of No. 1.

(34) The Indefinite Article has sometimes the force of a Numeral Adjective, signifying *one*, as :—A stitch in time saves nine.

(35) The letter read as follows :—

(36) 'Tis distance lends enchantment to the view.

注意：'Tis は It is の略字であるが重に詩に用ゐ、普通は It's と略す。

(37) The house was just such as I had pictured it from Sherlock Holmes' description.

(38) Trust no Future howe'er pleasant;  
Let the dead Past bury its dead:  
Act,—act in the living Present,  
Heart within, and God o'erhead!

(39) Yours is much better than hers.

注意：—Yours, hers, his, itsの如き代名詞の獨立所有格には Apostrophe を要しない。

(40) You can get the book at Brown & Co., the publisher's.

(41) No. Price is too high.

上の如く句讀を施せば：—「買ふな。値段が高過ぎる。」之を：—

No price is too high.

とすれば：—「どんな値段でも高過ぎない」=「いくら高くても買へ。」

(42) お客は：—

What do you think? I will shave you and give you a drink.

床屋は：一  
 What! Do you think I will shave you  
 and give you a drink?

大正13年3月5日印 刷  
 大正13年3月10日發 行  
 大正13年3月15日再版發行



著者	長谷川 康
發行者	檜村喜久太郎 <small>東京市神田區小川町四十一番地</small>
印刷者	野村 音吉 <small>東京市芝區田村町十八番地</small>
發行所	敬文館書店 <small>東京市神田區小川町四十一番地</small> <small>(振替 一二三三六)</small> <small>(電話神田三六七七)</small>
	(パンクチュエイション奥付) 金五拾錢

(敬文館印刷所印刷)



323

547

終